

# 令和6年1月第1回 松阪市教育委員会定例会会議録

令和6年1月26日（金）教育委員会室

## 報告事項

報告第1号 令和5年度松阪市教育功労者表彰について

報告第2号 令和5年度12月児童生徒の問題行動等について

## 出席者

教育長	中 田	雅 喜
委員（教育長職務代理者）	谷 口	雅 美
委員	服 部	美由紀
委員	松 江	茂
委員	安 岡	幹 根

## 出席事務局職員

事務局長	刀 根	和 宜
事務局次長	金 谷	勝 弘
教育総務担当参事兼教育総務課長	尼 子	宗 成
学校教育課長	三 田	篤
学校支援課長	小 泉	恵 希
子ども支援研究センター所長	御 堂	栄 治

傍聴者 2人

午後1時30分 開会

## ○教育長

ただいまから令和6年1月第1回松阪市教育委員会定例会を開会いたします。

傍聴の申し出がございましたので、私のほうで許可をいたしましたこと、ご報告申し上げます。

それでは、事項書に従いまして、進めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

本日は、議決事項はございません。

報告第1号につきまして、事務局から説明願います。

01. 令和5年度松阪市教育功労者表彰について

（報告第1号 学校教育課長から説明）

## ○教育長

事務局からの説明に対し、質問、意見はございませんか。



## ○教育長

報告事項が終了いたしましたので、「その他」に入ります。

委員のみなさまから何かございませんか。

(委員から「なし」の声)

## ○教育長

1件ご報告として、小学校の教諭が、県の災害時学校支援チームとして能登半島へ出向いておりますので、事務局から概略を説明願います。

## ◎事務局

松阪市立阿坂小学校の教諭が、先週の土曜日に石川県に向けて出発し、日曜日から輪島市に入って活動をしております。他の市町からは養護教諭1人と主事1人、それから県の教育委員会の2人を加えた5人で、県の災害時学校支援チームとして、まずは第一次隊員が行っております。期間としては、先週の土曜日からは、本日26日の金曜日までとなっておりますが、松阪市の教諭については、学校行事のため1日前までの活動とし、こちらに帰ってきております。報道等でもありましたように輪島市は、ようやく一部の学校で子どもたちが登校できるというタイミングでしたので、学校再開に向けた準備であったり、子どもたち或いは保護者への心のケアであったり、教科書が流されたりした子のための教科書の給与に当たる部分であったり、輪島の教育委員会や学校と協議しながら、今必要な支援に当たったと聞いております。

また、本日、当該校の校長先生から第一報として、元気に帰ってきたという報告もいただいております。

## ○教育長

少し補足をいたしますと、その教諭が輪島市に行っている間は、市教育委員会の指導主事が学校へ入って支援や授業を行うなど、教諭が派遣されることで、学校で授業ができなくなることはないように、支援をいたしました。

石川県の教育長会の会長である金沢市の教育長とは、以前から繋がりがあり、震災2日後ぐらいと、派遣の前にも電話で話したのですが、やはり非常に厳しい状況であるということでした。「先生方は、自身が被災していても家に帰らず、子どもたちのためにずっと寝泊まりしており、校長も、かなり疲弊してきている。教員職として、今回のように協力いただけるのは本当にありがたい。」と仰っていました。

教員等の派遣は全国でも5県くらいと限られています。三重県の他には、熊本県、宮城県など、いわゆる大きな震災があったところが支援隊を組織しています。三重県では、支援チームに登録されている中から、派遣可能な方に手を挙げていただきました。県としては、おおよそ一週間単位で、第十次まで派遣していきたいということでした。

石川県教育長会の会長は「多くの市町からの物資については間に合ってきているが、人的支援、特に子どもたちの心のケアとか、学びの支援とか、先生方の支援というのは、まだまだ十分ではない。」ということで、非常に感謝をされていました。

募金についてはどうなっていますか。

## ◎事務局

募金についても県から働きかけがあり、松阪市教育委員会でも各課で動いております。

## ○教育長

南海トラフ地震が起きた時の対応を学ぶことも視野に、何を求められているのか、今  
どういう支援が必要なのかを精査しながら、一時的ではなく継続的な支援をしていき  
たいと思います

これについて何かご質問等よろしいでしょうか。

## ◆委員

中学生の息子が、その日に違う県にいて地震の揺れを体感し、やはり怖かったようで、  
学校が始まってみんなで会った時に、その話をしたようです。

南海トラフ地震があったらどうしよう、とみんなが不安になっているという話や、息  
子は、「落ち着いたらオンライン等で向こうの子たちに関わりたい、何が困ったのか、  
どういうことができたのか聞いてみたい。」と言っていたので、子どもや保護者に対し  
て、先生が派遣されていることや、派遣された先生から活動時のお話をしていただけ  
たらいいなと思います。

## ◎次長

本日、派遣されていた阿坂小学校の教諭が戻ってきているので、学校に連絡したの  
ですが、早速子どもたちに話をしているようです。校長としては、基本的にまずは学校で、  
次は西中校区という風に順次広めていくとの事です。

東日本大震災の際も、教育長が次長の時に、被災された児童生徒会の方を数人、松阪  
市に呼んで交流を持つなどしており、今後、計画的にしっかり進めていきたいと思っ  
ています。

## ○教育長

もう1件ご報告ですが、先日、大谷翔平選手のグローブ贈呈式がありました。事務局  
から説明願います。

## ◎事務局

1月15日に大谷選手のグローブ贈呈式があり、代表して第一小学校の6年生の女の  
子3人が来てくれました。3人とも野球経験はないのですが、キャッチボールを柔らか  
いボールでやってみようとか、グローブを見て、大谷選手のオーラを感じるとか、学校  
で大事に使いたいと言っていました。それぞれの学校の方でも、クラス毎で回したり、  
休み時間や放課後の利用、また保護者の方がみえた時にも見てもらえる形にするなど、  
しっかりと使い方を考えてもらっているようです。

グローブについては、贈呈式以降17日までに各学校から取りにきてもらい、現在はす  
べての学校に行っております。

## ○教育長

他にございませんか。

(委員から「なし」の声)

## ○教育長

それでは、最後に事務局から次回の定例会の日程報告をお願いします。

## ◎事務局

次回の教育委員会定例会でございしますが、2月21日 水曜日、午後1時30分から教  
育委員会室で開催いたしますので、よろしく願いいたします。

○教育長

これをもちまして、令和6年1月第1回松阪市教育委員会定例会を閉会いたします。  
ありがとうございました。

午後1時52分 閉会